

令和8年3月13日

令和7年度とうきょう すくわくプログラム推進事業 活動報告書

園名	目黒区立みどりがおかこども園
所在地	目黒区緑が丘2-7-20

1. 活動のテーマ

<テーマ>

表現活動

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子供たちの興味関心、園の特色など)

本園の幼児の実態として、自分の思いを表現・表出する姿が少ない。そこで、様々な出来事に出会った時に心が動き、感情を表現し、友達や教師と感情を共有していけるような幼児を育てたいと考えた。また、豊かな感性をはぐくみ、一人一人の幼児の興味関心をさぐり、深め、追及していく過程で様々な表現方法を知るとともに、友達とのつながりが深まったり、探究する気持ちが強くなったりするようにしたいと考え、本テーマを設定した。

2. 活動スケジュール

幼児の興味・関心を深められる環境を構成していく。追求していく過程に描画、身体表現、お話作りなど様々な表現ができるよう環境を構成し、教師が援助していく。また、学級活動の中で表現活動を取り入れ、そこから興味・関心が広がり、深めていけるよう環境を作っていく。教師や、他の幼児とのかかわりが生まれる中で、さらに物事を追求し、豊かな感性がはぐくまれるようにしていく。

- ① 絵本をきっかけとした遊び (月1回程度)
- ② 感触遊び (5月～9月。月4回程度)
- ③ 園庭の植物、虫の飼育・栽培からの表現遊び (5月～2月)
- ④ 共通体験からの表現遊び (10月～12月)

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ① ・玄関ホールや保育室に絵本コーナーを設定し、幼児がいつでも絵本を手にとることができる環境を作る。また、季節や幼児の興味・関心に合わせた絵本や紙芝居の読み聞かせを行う。
 - ・幼児が絵本に出てきた虫や動物になりきって遊べるように、身に着けるものを作る素材や材料、音楽を用意する。
- ② ・様々な感触に親しめるよう、小麦粉粘土、油粘土、指絵具、絵の具などを時期や季節に応じて環境を作る。
 - ・親子で感触遊びをし、楽しさや面白さを共有し、表現を引き出すことができるよう親子で活動ができる機会を作る。
- ③ ・園庭の環境を時期・季節に合わせて整える。
 - ・季節に応じた栽培物を幼児と一緒に植え、育てる。また、園の実のなる木や植物などの変化に幼児が気付いたり、触ったり、遊びに使ったりできるよう環境を整える。
 - ・食することができる栽培物に関しては、植え、育て、調理し、食す体験ができるよう計画する。
(収穫したジャガイモや玉ねぎを使った調理活動、干し柿作り、育てた米をもちつきにで使い鏡餅にする等)
 - ・虫をよく見たり、飼育したり、触ってみたりしながら興味・関心が深まるよう、虫かごやシャーレ、身近な廃材(ヨーグルトカップにひもを付けて一人一人が入られるようにするなど)を使用した入れものを用意したり、幼児が自分で作ったりできる環境を用意する。
- ④ ・プール遊び、運動会、遠足、季節の行事など、幼児が園で共通に経験する活動を遊びに取り入れられたり、表現遊びをしたりする環境を整える。
 - ・幼児同士がイメージを共有したり、なりきったりできるよう、学習用情報端末やスクリーン、プロジェクターを使って物語や写真を映し出したり、ポータブルデッキを使って音楽を流したりする。

4. 探究活動の実績

<活動の内容>

① 絵本をきっかけとした遊び

絵本の読み聞かせをきっかけとし、日常の好きな遊びの中で絵本に出てくる動物や虫になりきってお面などを身に付けて遊んだり、ペープサートを作って遊んだりする。また、一斉活動で絵本に出てくる動物などの表現遊びをする

② 感触遊び

絵の具遊び、砂遊び、泥遊び、水遊び、小麦粉粘土や油粘土遊び等、様々な感触遊びをする。

③ 園庭の植物や虫探し、飼育栽培を通した表現活動

園庭で虫探しをしたり、虫を飼育したり捕まえたりする方法を考えたり、図鑑などで調べたりする。虫や植物を描いたり作ったりしたもので遊んだり、なりきって遊んだり、身体表現遊びをしたりする。

④ 共通体験からの表現遊び

遠足や季節の行事(お月見の会、コンサートを聞く、クリスマス、もちつき等)等の共通体験を遊びにつなげる。お面などを作って身に付けて見た生き物になりきって遊んだり、体験した事象を再現して遊んだりする。

〈活動中の子供たちの姿・声、子供同士や子供と保育者との関わり〉

- ①絵本のイメージの中で遊ぶことが、なりきったり、動きや言葉の表現を引き出したりした。
- ②様々な感触遊び（絵の具遊び、砂遊び、泥遊び、水遊び、小麦粉粘土や油粘土遊び等）を取り入れ、遊ぶことを繰り返す中で、感触を楽しんだり、気持ちを安定させたり、いろいろな形になるおもしろさを感じたり、形作って見立てたりする幼児の姿が見られた。
- ③自分たちで植え、育て、収穫する、または収穫したものを調理することを通して、不思議さや喜び、嬉しさ、おいしさなどを言葉や表情で表現したり、友達と思いを共有したりする姿が見られた。
虫を捕まえるために、捕まえる方法を試行錯誤したり、友達と考えを出し合ったり、喜びや悔しさを共有したりする姿が見られた。発見を友達に伝えるために、描画や製作をする様子もあった。発見や考えが友達に伝わり、友達と一緒に目的を共有し試行錯誤することがさらなる探究を生むことにつながった。また、学級全体への興味関心の広がりにもなっていた。
- ④共通の体験は、イメージの共有をしやすく、思いを共有しやすい。のびのびと表現したり、自然と体が動いたり、さらにイメージが膨らんだりした。また、互いの表現を受け入れたり、友達の表現（動きや遊びに必要なものを作る等）から刺激を受けて自分の表現に取り入れたりすることにつながった。

<活動の様子>



絵の具遊び



音楽会ごっこ



はらぺこあおむしごっこ



だんごむしのころちゃんごっこ



かなぶん探し



5. 振り返り（振り返りによって得た保育者の気づき）

- ・イメージの中で遊ぶことが、身体や言葉の表現を引き出すことにつながる。また、幼児同士が互いの表現から刺激を受けたり、自分の表現に取り入れたりしていくことがさらに豊かな表現を引き出した。
- ・感触遊びは気持ちを開放することにもつながり、豊かな表情や言葉や体での表現が引き出されていく。
- ・発見や驚きを友達と伝え合う中で、主体性が高まり、友達に理解してもらうための表現を工夫するようになる。
- ・幼児が「楽しい」「好き」なことに夢中になると、自らの思いや考えを主体的に表現するようになる。

以上